



出光北海道製油所見学記念

2022年10月28日

コロナ禍の中、辛くも実施できた第4学年見学旅行

FANCT vol. 137-Dec.

オープンキャンパス (2022年7月30日(土), 31日(日))

副校長・教務主事 篁 耕司

7月30日(土)および31日(日)に「オープンキャンパス」を実施しました。これは、昨年までの「体験入学」をリニューアルしたもので、2年ぶりに完全対面実施とすることができました。

参加者は旭川市内・近郊のみならず、札幌、オホーツク、宗谷地方などの道内各地域の他、道外からもあり、2日間でのべ290人に達しました。

主な内容として、全体の進学説明会(校内各会場にオンライン配信)と各学科での体験プログラムを実施した他、寮および学校の個別相談会、寮の見学会などを開催しました。

オープンキャンパスの開催にあたっては、教職員のほか、多くの現役学生にも発表や実験の補助を通じて協力して頂き、学生目線で本校の魅力を中学生に伝えてくれました。

今回のオープンキャンパスで本校の魅力を知った多くの中学生が本校を受験され、入学されることを期待しています。



「北海道地区高専体育大会」結果一覧 (2022年7月9日(土), 10日(日))

競技		成績 (個人種目は3位以上のみ記載)
アーチェリー部	男子団体	2位
	男子個人	高木 満さん 1位
	女子個人	米田 二葉さん 2位、谷村 瑠菜さん 3位
サッカー部		2位
ソフトテニス部	団体	2位
男子バスケットボール部		2位
女子バスケットボール部		2位
バドミントン部	男子団体	4位
	女子シングルス	今田 有優さん 2位
剣道部	男子団体	優勝
	男子個人	井上 陽貴さん 2位
	女子団体	優勝
	女子個人	北村 沙羅さん 優勝、高 杏華さん 3位
男子バレーボール部		4位
女子バレーボール部		4位
野球部		4位

「全国高専体育大会」に出場して

(2022年8月25日(木), 26日(金))

2年 機械システム工学科 井上 陽貴 さん

初戦は福島高専を相手に延長戦の末、胴で1本勝ち。2回戦目は福井高専を相手に面で1本勝ちを収めました。3回戦目は高知高専を相手に突きを取られて敗北しました。実は3回戦目の相手は、1年生の時の仙台で行われた大会の団体戦で負けた相手でした。以上の結果より、ベスト8に終わりました。



今回、初めて全国の中で個人戦に出場できて良かったです。大会前の合宿でも練習試合などは多く行いましたが、良い調子が出ず負けることが多くなっての全国大会でした。また、試合前の練習で足を怪我してしまい、更なる不安の中で臨んだ大会でした。その中でベスト8まで進出できたのは嬉しいです。しかし、これを次の機会に活かしたいと思います。しかし、前回の大会で負けた相手に負けてしまったのは悔しいです。負けた相手は同じく2年生。これからの全国大会で上位に行くと必ず再び対戦すると思うので、次に対戦した時は絶対に勝ちたいです。

来年は北海道での予選で個人戦1位となり、全国大会個人戦に再び出場したいです。そして、全国大会では3位以内に入賞し、団体戦のメンバーになって団体戦では決勝戦まで進出できるように、合宿や高体連でしっかり結果を残して来年に備えたいと思います。



高専ロボコン2022 北海道地区大会に出場して

(2022年10月16日(日))

Aチーム 4年 システム制御情報工学科

大平 雅人 さん

今回の高専ロボコンは「ミラクル☆フライ」というテーマです。このテーマはロボットから紙飛行機を発射し、9個の的の上に乗せるなどして得点を取るものでした。

私たちは、「吹雪」というロボットを作製しました。2つの発射機構から合計二千枚もの紙飛行機を高速度・広範囲に打ち出すことが可能なロボットです。これによって、ロボットがどこにいてもフィールド全体を紙飛行機で覆うほどの射出ができます。10月16日(日)に行われた北海道地区大会では大きな不具合に見舞われることなく試合を行うことができました。

結果として、地区大会優勝を果たし、全国大会へ出場することになりました。しかし、今のままでは得点力不足になることが想定されますので、今までよかった長所をそのままにさらに良いマシンになるようにロボットの改良に取り組んでいます。

地区大会での皆様のご声援、ありがとうございました。今度は全国大会、優勝目指し頑張ります。



Bチーム 3年 システム制御情報工学科

猪上 綺花 さん

10月16日(日), 本校で開催されたロボットコンテスト北海道地区大会に出場しました。Bチームにとって初めての競技形式の大会で, 全員が手探りの中準備を進めました。今大会の課題は紙飛行機を飛ばすロボットです。一回戦はロボットが順調に動き, 180機近くの紙飛行機を飛ばして勝利しました。二回戦は電気システムのトラブルのため競技開始から終了までロボットが動作せず, 負けてしまいました。そのため決勝リーグには進めず, 目標としていた全国大会出場は叶いませんでしたが, 地元・旭川からの声援を受けてベストを尽くせたと思います。

今回はスケジューリングがうまくいかなかったり, メンバー同士の連携不足があったり, 悔いの残る点が多くありました。来年は製作の進め方を一から見直し, 北海道地区大会を制覇して全国大会に出場したいです。

活動を支えてくれた顧問の先生方, 家族, 友人, 大会運営に携わって下さった教員, 補助学生の方々に心から感謝しています。



高専祭 (2022年10月21日(金)-23日(日))

学生主事補 倉持しのぶ

「今年度は3年ぶりに高専祭が実施できる！」ということで、高専祭を経験していない3年生・2年生を中心とする学生会メンバーが、文字通り手探りで準備を進め、何とか前夜祭に漕ぎつけた21日。ここまで来れば大丈夫だと過信していた訳ではありませんが、学内の新型コロナ感染状況が急速に悪化し、中止となってしまったときはさすがに言葉を失いました。

しかし、曲がりなりにも高専祭の準備を経験できたことは、学生にとっても次年度に向けて大きな財産となったはずです。来年こそは盛大に高専祭を実施できるよう、また地道に準備を進めてくれることでしょう。

最後になりましたが、登校できない学生に代わって後片付けに奔走してくださった教職員の皆様方、本当にありがとうございました。



見学旅行を終えて (2022年10月26日(水)-28日(金))

4年 機械システム工学科 岩下 奈央 さん

機械システム工学科は、10月末頃に行われた工場見学旅行で、道内の5社にお邪魔させていただきました。特色あふれる各種企業の生産現場の様子、専門的な知識・技術を生で見ることができ、とても良い経験をすることができました。

特に私個人としては、2社目に訪問したむかわ町にある「いすゞ北海道試験場」での見学が非常に印象深いです。同社は、実際にいすゞ自動車が開発中の車両の試験走行場として利用されています。見学旅行前から、自動車に興味のあった私はこの会社の見学をとっても楽しみにしていました。実際にテストコースを視察させて頂いた際には、普段は撮影禁止のコースを見学用のバスで見回ることができ、コースの傾斜や車両の速度など、本当のテスト走行に近い体験をさせて頂き感動しました。

今回の見学旅行では様々な業種の企業を回りましたが、どの業界でも高専で習ったことを活かすことができると感じられたので、これまで以上に学業に励みたいと思いました。



見学旅行を終えて (2022年10月26日(水)-28日(金))

4年 電気情報工学科 片山 颯太 さん

初日、午前の北海道住電精密(株)では、超硬工具を作る工程を教えて頂き、また、午後の北海道電力(株)石狩湾新港発電所では、中央操作室や本館などのめったに見ることができない施設を見学させて頂き、ともに非常に貴重な体験となりました。

2日目、午前の(株)NTT東日本-北海道では、会社説明や施設の見学だけでなく、実際にケーブルを交換する体験をさせて頂きました。午後のウェルネット(株)では、社長のご講演やOB社員の方々の貴重なお話を聞くことができ、IT業界に興味を抱くきっかけになりました。

最終日、午前の(株)デンソー北海道では、従業員が働きやすさを感じられる

ようなシステムが工場にたくさん詰まっていると感じました。また、午後の出光興産(株)北海道製油所では、土地が広大なためバスで施設を見学するという新鮮な体験をさせて頂きました。

この旅行全体を通して、今後の進路に役立つ有意義な時間を過ごすことができました。また、宿泊地ではクラスメイトと交流を深め、良い思い出作りをすることができました。新型コロナウイルス禍により、見学旅行そのものが実施されるかどうか不安でしたが、今回体験することができ本当に良かったです。



北海道電力(株)石狩湾新港発電所



札幌ファクトリーにて

見学旅行を終えて (2022年10月26日(水)-28日(金))

4年 システム制御情報工学科 寺崎 光 さん

今回の見学旅行では、道内の様々な企業や大学を自分の目で耳で体験し、自分の進路やキャリアプランについて見つめ直す機会にすることができました。また、業界に対する認識の解像度を上げることもできました。普段の学校の授業から実際の仕事への繋がりを感じたので、それを勉強へのモチベーションにしていきたいと思います。

民族共生象徴空間「ウポポイ」ではアイヌの歴史と文化について触れ、私達の故郷、北海道への興味と愛着がよりいっそう深まりました。私達は2年生のときの宿泊研修が、新型コロナウイルスの流行によって実施されなかったので、今回の見学旅行は実施することができて、とても良かったです。

また、普段の学校生活の中では見えてこない級友達の一面を知ることができ、クラスとしての団結力を高めることもできたと思います。

これから私達は本格的な就活シーズンに入っていきますが、きっと今回の見学旅行での経験も生きていくと思うので、大切にしようと思います。



見学旅行を終えて (2022年10月26日(水)-28日(金))

4年 物質化学工学科 林 巧真 さん

今回の工場見学に参加して、初めて学べたことがいくつもありました。例えば、ホームページには載っていない、和気あいあいと働く社員の皆さんの雰囲気を感じることができたり、どんな仕事も日々の生活を支えるやりがいのある仕事であることに気づけたことです。素直にわからないことを質問でき、お互いに助け合いながら、楽しそうに働く社員の方々の姿を見て、私もこのような環境で働きたいと思いました。

また、印象に残っていることとして「コミュニケーションの取り方」が
あります。まずは対象となる方に興味を
て質問を投げかける、という姿
ました。学生生活だけでな
や社会人になったときに、
て積極的にコミュニケーション
いました。さらに、人と話す
することも学びました。「間」は
らす有効なテクニックであるこ
「間」を意識して話せるように
たくさんの未知を知る貴重な機
の奥深さに触れることができた見
めます。

「コミュニケーションの取り方」があ
持ち、その方の回答に対し
勢がとても大切だと感じ
く、アルバイトでの場面
今回学んだことを活か
ンを取っていかうと思
時には「間」が大事であ
聞き手側の負担を減
とを知り、今後は
なりたいと思います。

会となり、また、「ものづくり」
学旅行ですが、以下にその成果をまと

- ・各工場の「ものづくり」に対する熱意を強く感じ、お客様に対する対応やお客様視点での考え方が徹底していることを実感しました。
- ・会社の方から色々なことをお聞きすることができ、それまで自分が感じていた疑問や不安を解決、解消できました。



旭川高専産業技術振興会の企業紹介

No.25 荒井建設株式会社

会社概要

- ・ 創立：1894年（明治27年）11月1日
- ・ 従業員数：185名（男性171名，女性14名）
- ・ 事業内容：土木・建築・住宅・舗装その他建設物の施工
建築・住宅の企画・設計および工事監理
その他上記に関する一切の業務
- ・ 事業所：旭川本社，札幌支店，東京支店，函館営業所，
道東営業所



荒井 保明 代表取締役



荒井 克典 取締役社長

アピールポイント

当社がもっとも重要な資源として位置づけているのが「社員」です。社員一人ひとりが安心して仕事ができる環境づくりに取り組んでいます。例えば，新入社員に対して先輩が一定期間サポートするメンター制度，女性が活躍する職域の拡大，働きやすい職場環境の整備，また，社長の考えを身近に感じてもらうと，社長の現場パトロールやブログ共有などを通してコミュニケーションを図っています。さらにデザイン経営の視点を導入し，戦略やブランドを設計するというデザイン思考によって，地域社会の発展に貢献したいと考えています。旭川市を拠点とする日本初の男子プロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」とパートナーシップ契約を締結するなど，これからも新たな試みにもチャレンジし続け，地域の活性化に繋げていきます。



本社社屋



ヴォレアス北海道 2021
V2リーグ優勝報告会

連絡先

住所：北海道旭川市4条西2丁目2番2号
TEL：0166-22-0121（総務部）
HP：<https://www.araikensetsu.co.jp>



旭川高専産業技術振興会の企業紹介

No.26 不二技研工業株式会社

会社概要

- ・ 設立：1987年4月
- ・ 従業員数：54名（男性43名，女性11名）
- ・ 事業内容：物流搬送機械および一般産業機械の設計・製作および販売

- 【製品例】
- ◎パレタイザ（パレットにモノを積載する機械）
 - ◎各種パレット用コンベア，垂直搬送機（リフター）
 - ◎荷役／省力機器・製造・保管ライン等の設備
 - ◎ほか各種搬送機・オーダーメイド装置



新事務所棟

アピールポイント

物流倉庫や製造工場の自動化を希望しているメーカーや物流会社に対して、自社および自社グループ製品を提案します。私たち不二輸送機工業グループは、歴史ある世界的な産業用機械・ロボットメーカー。モノを運ぶ「搬送」分野において「不二ブランド」は知らない人がいないほどの知名度を誇ります。グループの有する多種多様な機械・ロボットを組み合わせ、お客様の倉庫・工場のライン状況に最適なカタチで営業が提案します。

【顧客】 重工・食品・飲料・製缶・自動車・化学等のメーカーや物流会社を中心。グローバル企業から地元の優良中小企業まで規模はさまざまです。

【仕事の流れ】 ▼お客様要望のヒヤリング ▼社内の設計部署と打合せ & 構成案の企画作成 ▼提案 ▼OKが出たら、設計・製造の部署が製作 ▼完成品を旭川工場で試運転してチェック ▼お客様の現場への納入・設置の立ち合い（※ヒヤリング～納品まで半年～1年位）。

連絡先

住所：北海道旭川市工業団地5条2丁目1番28号

TEL：0166-36-8400

HP：<http://fujigiken.racms.jp/>



機械式パレタイザ



ガントリパレタイザ

FANCT

vol. 137-Dec.



独立行政法人国立高等専門学校機構
旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

URL <https://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りいたします。